

登録コード	L1430900	開講年度	2026				
担当教員	前田 豊			副担当			
授業科目	社会学基幹演習Ⅲ						
英文授業名	Socioogy: Basic Seminar Ⅲ						
授業タイトル	比較の方法						
単位数	2	対象学生		講義期間	前期	曜日・時限	金曜・2時限
講義室	人文212講義室		遠隔授業科目		読替科目	読替科目は履修案内を確認すること	
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			⇔	【授業の達成目標】		
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ						
	【2023年度以降カリキュラム対象】人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身についている。【思索力・受容力・批判力】			⇔	社会学を含む経験的な社会科学の基礎となる比較の方法について学び、自身の研究に応用できるようになる。		
	【2023年度以降カリキュラム対象】必要な情報を的確に収集し、理解し、発信する力が身についている。【メディアリテラシー・コミュニケーションリテラシー・外国語能力】			⇔	方法論の理解に基づき、自身の研究目的に応じて種々の情報を適切に扱うことができるようになる。		
授業で学べる「テーマ」	その他						
全学横断特別教育プログラム							
授業の概要	本授業の前半では、テキストの輪読とディスカッションを通して、社会学を含む経験的な社会科学の一つの基礎的アプローチである比較の方法論について、とりわけ因果推論の観点からより深く理解することを試みる。また、習得した方法論の理解に基づき、後半では既存の社会学研究の批判的検討をディスカッション形式で行う。						
授業計画	第1回：イントロダクションと担当決め 第2回：テキストの輪読とディスカッション1 第3回：テキストの輪読とディスカッション2 第4回：テキストの輪読とディスカッション3 第5回：テキストの輪読とディスカッション4 第6回：テキストの輪読とディスカッション5 第7回：テキストの輪読とディスカッション6 第8回：テキストの輪読とディスカッション7 第9回：テキストの輪読とディスカッション8 第10回：テキストの輪読とディスカッション9 第11回：批判的検討1 第12回：批判的検討2 第13回：批判的検討3 第14回：批判的検討4 第15回：授業アンケート・批判的検討5 定期試験なし						
成績評価の方法	報告内容・読書ノート（70%）と議論への参加（30%）から総合的に判断する。						
成績評価の基準	テキストの内容理解、積極的な議論への参加の2点から評価する。複合的に十分な水準・成果に達していると判断された場合は『卓越している』と評価し、いくつかの点で特に優れていると判断された場合は、その程度に応じて『かなり上にある』『やや上にある』と評価し、総合的に一定の水準を満たしていると判断された場合は『その水準にある』と評価する。						
事前事後学習の内容	授業参加に先立ち、必ず事前に十分にテキストを読み込み、内容の理解に努めること。						
履修上の注意	特になし						
質問、相談への対応	オフィスアワー、メール（ymaeda076[at]shinshu-u.ac.jp）にて受け付ける。オフィスアワーの日は初回授業時に伝える。						
教科書	久米郁男, 2025, 『原因を推論する〔新版〕: 政治分析方法論のすゝめ 量的方法と質的方法』有斐閣						
参考書	参考文献は授業中に適宜紹介する。						